

第72回茅野市公民館分館職員研修会の開催について

茅野市中央公民館・茅野市公民館専門委員会では、区・自治会が設置する公民館である分館の役員になった方を対象に、公民館活動について学んでいただくため、茅野市公民館分館職員研修会を下記のとおり開催します。

- 日時 2月15日（日） 午前・午後の2部制
午前の部 午前9時～12時
（ちの地区・宮川地区・米沢地区・湖東地区・北山地区）
午後の部 午後1時15分～午後4時15分
（豊平地区・玉川地区・泉野地区・金沢地区・中大塩地区）
- 会場 茅野市役所 8階大ホール（開会式・広報コンクール表彰、講演会）、
7階会議室（分科会）・1Fロビー（分科会）
- 内容 講演会、学習・広報・体育レクリエーション分科会、
茅野市公民館広報コンクール表彰

詳細は別紙要項をご参照ください。

担当 茅野市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課
中央公民館 上田
電話：0266-72-3266
FAX：0266-71-1631
電子メール kominkan@city.chino.lg.jp

令和8年 第72回茅野市公民館分館職員研修会 開催要項

1 開催趣旨

当市が昭和63年に全国の都市で4番目に「生涯学習都市宣言」を行った背景には、市内での多種多様な学習活動や人々の交流を通じ、ひとづくり、地域づくりを目指した公民館活動、特に自治公民館（分館）活動が活発であったことが挙げられます。茅野市公民館では、様々な地域や生活の課題を掘り起こし、数々の実践を重ね、当市における生涯学習の中核的な役割を担ってきました。

一方で、少し前まで新型コロナウイルス感染症予防のため集うことが難しく、行事等を中止・縮小せざるを得ない状況でした。現在は復調傾向ですが、社会状況の変化を受け、各分館において活動方針や事業内容等を見直す動きも出てきています。

いずれにしても、公民館活動は地域の存続のための一翼を担っており、近年の大規模災害発生時には、地域の絆の大切さや「集う・学ぶ・結ぶ」という公民館が果たしてきた役割の重要性が改めて注目されています。この状況をより良い変化へのチャンスと捉え、「新時代の公民館活動のあるべき姿」を学び合うための機会とします。

2 研修目的

- (1) 公民館活動の「基本的な考え方」を身につける。
- (2) 「地域に即した分館活動」の具体的な手法（知識と技術）を理解する。
- (3) 地域課題や生活課題等を公民館活動に結びつける実践力を高める。
- (4) 新時代の公民館活動のあるべき姿を考える。

3 期 日 令和8年2月15日（日曜日）

4 会 場 茅野市役所

5 対象者 分館長・主事・専門部員など分館役員、公民館活動に係る方

6 主 催 茅野市公民館・茅野市公民館専門委員会

7 日 程

【午前の部】（ちの地区・宮川地区・米沢地区・湖東地区・北山地区）

【午後の部】（豊平地区・玉川地区・泉野地区・金沢地区・中大塩地区）

(午前) 8:45 9:00 9:05 9:15 10:15 10:30 12:00
(午後) 13:00 13:15 13:20 13:30 14:30 14:45 16:15

受付	開会式	広報コンクール表彰 茅野市公民館	講演会	移動・休憩	分科会 (休憩は適宜、 終了後解散)	閉会
----	-----	---------------------	-----	-------	--------------------------	----

8 研修内容 ※午前・午後とも同一内容で実施します

○茅野市公民館広報コンクール表彰(10分間)

コンクールに出展いただいた分館の中から、特に他の分館でも参考にしていた
だきたい分館報等(令和7年のもの)を発行した分館を表彰します。

○講演会(60分間)

講演「公民館ってなんだろう? ~公民館活動のあるべき姿」

講師:白戸 洋 教授(松本大学 観光ホスピタリティ学科)

「今みたいな公民館はいらない。でも、公民館のようなものは必要だ。」

…これは約20年前、県内のある分館役員の集会で出た結論です。

今の公民館が何を大切にしたらいいのか、何を変えたらいいのか、公民館の
基本的な成り立ちや子どもを軸にした活動という観点からお話しいたします。

○分科会(1時間30分) ※いずれかの分科会へご出席ください

(1) 学習分科会

これからの活気あるまちづくりや地域活動の担い手づくりには、子どもや子育て
世代との関わりがますます重要になると考えます。公民館活動の行事などで、子
どもや子育て世代との関わりについて意識や工夫したこと、また、これからの考え
など情報交換をしたり、講演会講師の白戸先生よりアドバイスをいただきます。

- グループディスカッション「次の世代に向けて大人ができること」

講師:白戸 洋 教授(松本大学 観光ホスピタリティ学科)

(2) 広報分科会

分館報は区民のための「かわら版」です。分館の活動内容や地域の動き等を
区民に知ってもらうため、効果の上がる方法・技術を知り、どのような広報・調査
活動を進めればよいのか考えます。

- 広報活動の意義と役割について

- 令和7年度発行各分館報・たより・チラシの見学・講評

(3) 体育レクリエーション分科会

「体レク活動を通じて、健康で元気な地域づくりを進めよう」

年齢や性別を問わない「ニュースポーツ」を体験し、分館活動にも活用するこ
とで、元気で健康な身体作りを推進します。

- ニュースポーツを楽しもう(講師:茅野市スポーツ推進委員)

種目:「モルック」「室内ペタンク(ニチレクボール)」